



Figure 1. Indoor laboratory

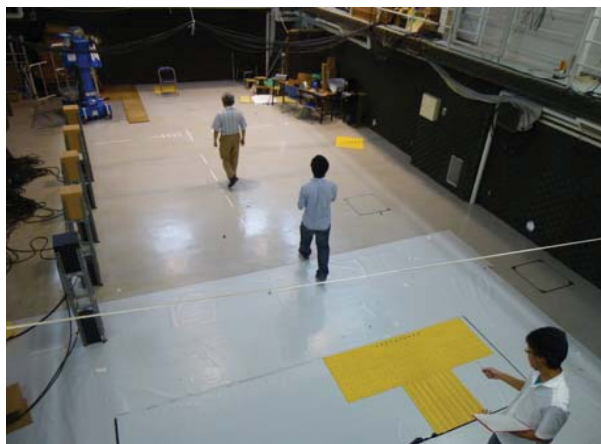


Figure 2. Actual experiment scene.

## 内容:

視覚障害者にとって交差点を横断することは、もっとも危険を伴う行動の一つである。視覚に障害を持つ歩行者は、点字ブロックで横断歩道まで誘導された後、音響信号機によって交差点を渡り切ることが重要である。しかし、点字ブロックと音響信号機の移動支援システム間の接続性や連続性の観点から検証することはこれまで行われてこなかった。この研究では、点字ブロックと音響信号機の移動支援システム間の接続性や連続性の検証を目的とする。

図1に実験室内に点字ブロックの評価実験が行える床入替装置を示す。実験室は壁と天井に防音を施している。この実験室は交差点や横断歩道を再現することができる。この実験室は安全で再現性のある実験が行える。図2に被験者による実験風景を示す。図2の左側のスピーカー群によって実際の交差点の騒音を再現する。この研究の知見から誘導に関するガイドラインを作成する科学的基礎データを取得することが可能となる。

分野: <人間医工学>

専門: <福祉工学>

E-mail: <s-fuji@eco.tokushima-u.ac.jp>

Tel. <電話番号088-656-7537>

Fax: <fax番号088-656-2169>

HP : <http://www.me.tokushima-u.ac.jp/aelab/>

